

市の財政状況をお知らせします ●問合せ 企画財政課 財政係 ☎73-9152

令和4年度うきは市の一般会計・特別会計の決算が9月議会で認定されましたのでお知らせします。普通会計（*1）の実質収支において6億9,687万円の黒字となりました。

普通会計では、歳入総額183億5,116万円、歳出総額175億3,805万円、差引8億1,311万円が令和5年度へ繰り越されました。歳入・歳出の状況については次のとおりです。

※端数処理により、構成比率合計が合わない場合があります。

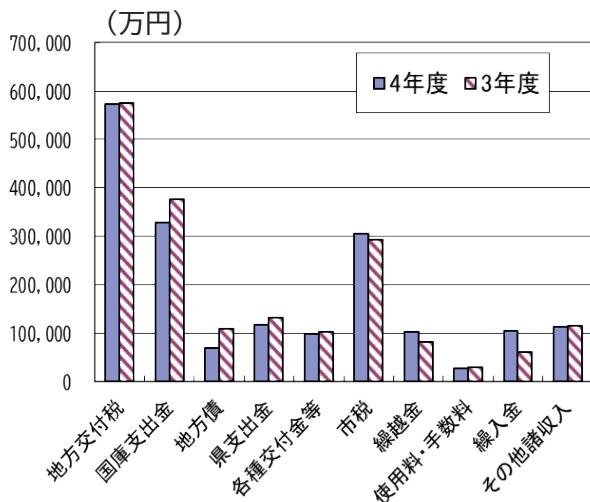
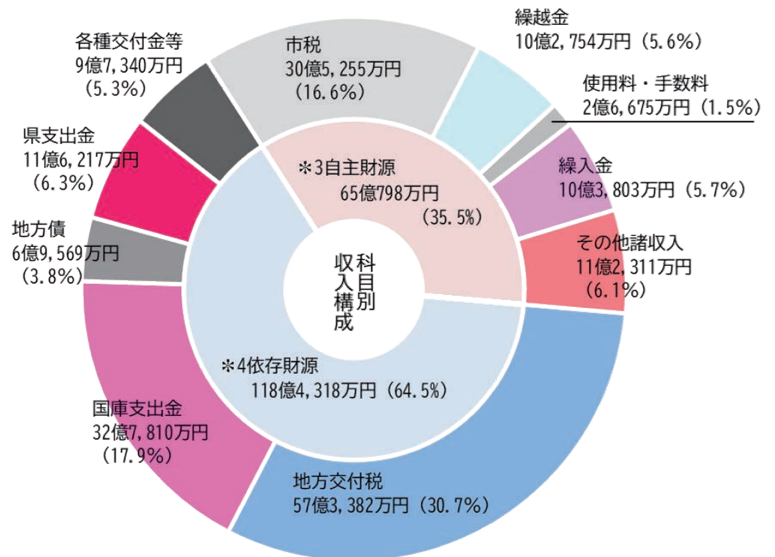
普通会計における、うきは市の借金（地方債）は、前年度から11億2,195万円減少し、110億8,453万円になり、市民1人当たり約40万円になります。貯金（基金）は4億7,477万円増の134億5,229万円で1人当たり約48万円1千円になります。財政構造の弾力性を判断する指数である経常収支比率（*2）は前年度から3.3ポイント上昇し82.6%になっています。

市の財政状況は、地方交付税の減少や人口減に伴う市税の減収が見込まれ、今後も厳しい財政運営が求められます。こうした状況の中、財政健全化法に基づき全事業で事業の適正化・見直しを行い、行財政の簡素効率化を推進し、住みよいまち・うきは市の実現を目指します。

歳入 総額（普通会計）183億5,116万円…前年度に比べて2.0%減（3億6,996万円減）

市税の内訳

税目	収入額(万円)	1人当たり(円)
市民税	124,025	44,314
固定資産税	145,343	51,930
軽自動車税	12,979	4,637
市たばこ税	22,443	8,019
計	304,790	108,900
入湯税	465	



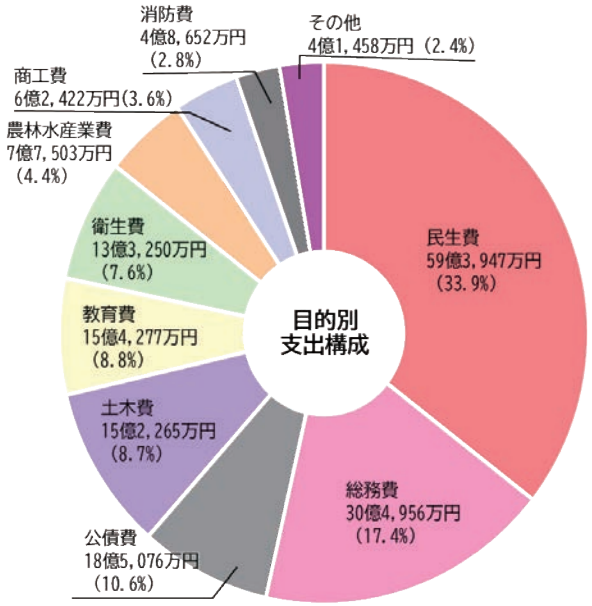
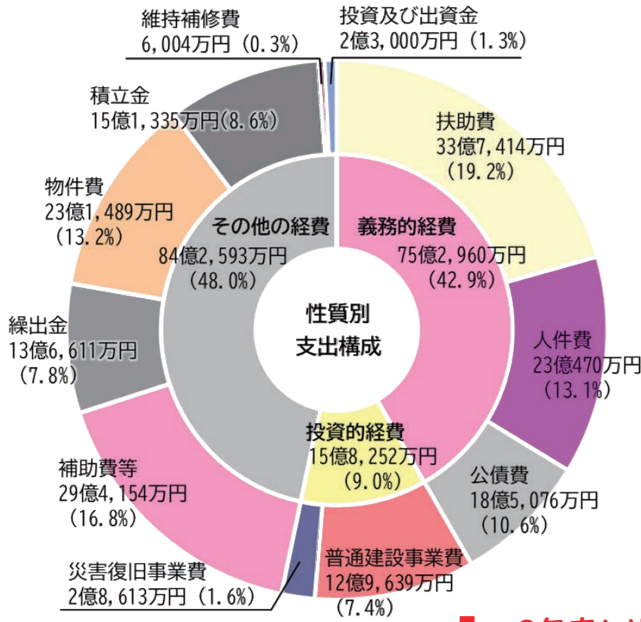
歳入は、市税が歳入全体の16.6%にあたる30億5,255万円（前年度比4.6%増）になっています。また、歳入全体の30.7%を占める地方交付税は、57億3,382万円（前年度比0.2%減）になっています。地方債は歳入全体の3.8%にあたる6億9,569万円（前年度比35.7%減）を借り入れました。国庫支出金は歳入全体の17.9%にあたる32億7,810万円（前年度比13.0%減）で、令和3年度の子育て世帯への臨時給付補助金終了により減少しています。

★ひとくちメモ／用語解説

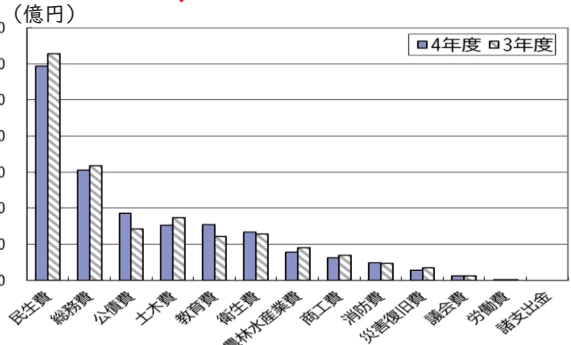
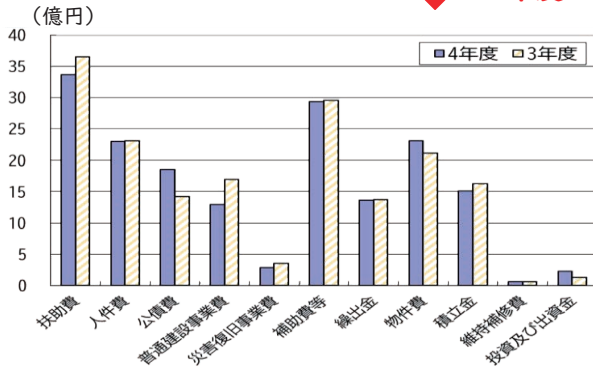
- *1) **普通会計** 統計上の比較のための会計。うきは市では、「一般会計」「自動車学校特別会計」を合算したもの。
- *2) **経常収支比率** 市税や普通交付税など毎年度恒常的に収入され、自由に使える財源が人件費・扶助費など経常的経費（毎年度継続して支出される経費、行政運営上必要不可欠な経費）にどれだけ使われたかを示す比率。数値が低いほど財政構造の余裕を示す。
- *3) **自主財源** 市で自主的に収入できる財源
- *4) **依存財源** 国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりして収入する財源

歳出

総額（普通会計）175億3,805万円・・・前年度に比べて0.8%減（1億5,553万円減）



↓ 3年度と比べてみましょう！ ↓



歳出は、人件費・扶助費・公債費の義務的経費が全体の42.9%の75億2,960万円（前年度比2.0%増）となっています。建物や道路などの施設整備等にかかる投資的経費は、全体の9.0%の15億8,252万円（前年度比22.8%減）になっています。その他の経費は、補助費等が出産・子育て応援給付金等により全体の48.0%の84億2,593万円（前年度比2.0%増）になっています。

歳出を目的別に見ると、民生費が59億3,947万円（前年度比5.5%減）で、総務費が30億4,956万円（前年度比4.3%減）、公債費18億5,076万円（前年度比30.6%増）、災害復旧費2億8,613万円（前年度比18.9%減）となっています。民生費は学童新築工事完了等により減少、災害復旧費は豪雨災害に伴う工事完了等により減少しています。

積立金現在高

(万円)

普通会計	4年度末	3年度末	年度内増減
財政調整基金	557,214	549,266	7,948
自動車学校財政調整基金	32,154	31,370	784
公共施設等整備基金	249,527	206,443	43,084
(合併) 振興基金	109,556	123,249	△ 13,693
減債基金	118,685	110,682	8,003
地域振興基金	96,953	96,793	160
地域福祉基金	56,125	55,953	172
ふるさと創生基金	35,889	35,979	△ 90
山村地域振興基金	5,435	5,693	△ 258
森林整備担い手対策基金	26,714	26,739	△ 25
ふるさと・まごころ基金	44,345	43,675	670
その他基金5件	12,632	11,910	722
合計	1,345,229	1,297,752	47,477
土地開発基金（現金等：万円）	39,839	38,788	1,051
（土地：㎡）	3,001	3,139	△ 138

地方債残高

(万円)

会 計	4年度末	3年度末	年度内増減
一般会計	1,108,453	1,220,648	△ 112,195
普通会計 合計	1,108,453	1,220,648	△ 112,195
簡易水道事業会計	125,369	125,968	△ 599
下水道事業会計	828,870	881,109	△ 52,239
合 計	2,062,692	2,227,725	△ 165,033

特別会計の決算状況

(万円)

	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険事業	398,383	385,244	13,139
後期高齢者医療事業	51,245	50,994	251

地方自治体の財政状況を見極める4つのものさし 財政健全化判断比率（健全化4指標）

	うきは市	早期健全化基準 (黄信号)(%)	財政再生基準 (%)
実質赤字比率	-	13.51	20.00
連結実質赤字比率	-	18.51	30.00
実質公債費比率	6.6	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

(注)「-」: 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字でないため「-」で表示しています。将来負担比率は、将来負担額を充当可能財源が上回るため「-」で表示しています。

財政健全化判断比率とは

「財政健全化法」により、自治体は財政に関する4つの指標（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率）を公開し、財政状況の改善に取り組むことが求められるようになってきました。4指標のうち1つでも早期健全化基準を超えると「早期健全化団体」とみなされ、財政健全化計画の策定が義務付けられます。また将来負担比率を除く3指標が悪化して1つでも財政再生基準を超えると「破たん」と見なされ、国の関与のもと財政的な制限が行われます。

【実質赤字比率】

福祉や教育など、自治体の行政運営の基本的な経費をまとめた「普通会計」の赤字の程度を測る指標です。

【連結実質赤字比率】

「普通会計」と下水道事業や国民健康保険事業などの「特別会計」を合算（連結）して、赤字の程度を測る指標です。

【実質公債費比率】

自治体の財政規模に対して、借入金（地方債）の返済額の程度を測る指標です。

【将来負担比率】

自治体の財政規模に対して、将来どの程度借入額などの支払残高があるのかを測る指標です。

令和4年度のうきは市
決算を診断してみると…



令和4年度に行った主な事業 決算額（単位:千円）

①将来のうきは市を担う人を育み、大切にしています

- ・高校新卒マッチング事業費補助金 1,500
- ・うきはっ子の豊かな心育成事業（外国語・文化教育事業ほか） 4,017
- ・かがやく“ひと”育成事業（うきは市民大学ほか） 7,162

②活力にあふれ、まち全体がにぎわっています

- ・農業ブランド化推進事業 19,009
- ・農業人材育成対策事業 2,270
- ・商工会臨時経済対策商品券発行事業 52,676

③誰もが生き生きと安心して健康に暮らしています

- ・母子保健事業（出産・子育て給付金ほか） 50,901
- ・高齢者等見守り事業 2,054
- ・健康増進事業 55,719
- ・予防接種費 86,390

④安全で安心なまちで、住みよさを実感しています

- ・災害復旧事業費 286,132
- ・公営住宅建設事業（高見団地・兔渡島団地） 26,711
- ・空家等対策推進事業 10,102
- ・防災対策費 9,410

⑤みんなの力で協働して支えるまちづくりを進めています

- ・地域づくり活動費補助金 1,090
- ・地域コミュニティ支援事業 107,002
- ・ふるさと創生事業（個性あるまちづくり事業費補助金ほか） 2,055



▲公営住宅建設事業

建物の老朽化に伴い、より安心・安全に暮らせる居住環境を形成することを目的に、高見団地及び兔渡島団地の建替居住者用の駐車場・公園の整備を行いました。



▲農業人材育成対策事業

市独自の新規就農促進事業において機械購入等初期投資に係る経費の一部を支援。令和4年度は新規就農者4名が本事業を活用されました。